

下顎乳前歯が埋入後再萌出した一例

○逢坂 亘彦

くすのき子供歯科

歯槽骨内に埋入した上顎乳切歯が再萌出することはよく知られている。しかし下顎乳前歯についての報告は稀と思われる。埋入した下顎左側乳中切歯を、半年以上経過観察したところ再萌出したので報告する。

患 児 平成20年10月27日生まれ。女児。

主 訴 下顎左側乳中切歯が折れた。

既往歴 特記事項なし。

現病歴 平成18年10月15日の夜自宅の階段のから転落した。母親が口腔内を見ると下顎左側乳中切歯が見えなかったので破折したと思い、翌16日に当医院を受診した。初診時生後11か月。

現 症 萌出歯は上顎左右の中切歯と下顎左右の中切歯であった。受傷した下顎左側乳中切歯は歯冠の一部が見えるだけでほぼ完全に埋入していた。

処 置 下顎乳側切歯が未萌出なため整復固定を行うには困難がある、上顎同様再萌出の可能性が有ると考えた。そして、再萌出しない時は乳側切歯の萌出を待つて整復固定することを母親に話してから経過観察を行うこととした。

経 過 受傷後1か月、2か月、4か月、6か月と経過観察を続けたところ、平成22年5月に行った受傷後6か月目の経過観察の時、乳側切歯の萌出と共に左側乳中切歯の萌出を認めた。

一症例ではあるが、下顎前歯が埋入した症例では再萌出することが示唆された。